

2024年12月号

カトリックニ俣川教会  
教会だより

No.376

(2024年12月1日発行)



# 二十六聖人



カトリックニ俣川教会 TEL 045-391-6296 <http://www.futamatagawa-cc.com/>

## 巻頭言：一つの聖像となって

彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。【ルカ 2, 6~7】

いよいよ12月、今年最後の月を迎えました。ほとんどの場合、12月は待降節と降誕祭、そして、その降誕祭に続く降誕節となっています。この一ヶ月の間、救い主であるイエス様の誕生の恵みと喜びが、信者の皆さんに豊かに注がれるよう、お祈りいたします。併せて、主の降誕を祝いながら、主の再臨をも思い起こし、その日のための準備についても考えることができればと思います。

今年も、前庭の聖母子像の前に馬小屋が整いました。クリスマスになると、赤ちゃんのイエス様の聖像が安置されるでしょう。道を通る人々は、ここがカトリック教会で、そろそろクリスマスの準備しているのだということまでは、気づかないようです。けれども、前庭の「馬小屋」がなんだか気になるようです。小さな子供たちもその前に立って、興味深い表情で、馬小屋の中をあっちこっち見つめながら喜んでくれます。毎年この季節の風景です。

イエス様の馬小屋。それは聖なる貴い場所ではありませんでした。そして、そこに集まった人たちもそうだったでしょう。その馬小屋とそこに集まった人たちを聖とされたのは、ただイエス様だったのです。実に、すべてはイエス様によってのみ、聖とされるわけです。イエス様が来られたのは、ご自分を通してすべてが新たになり、聖なるものとなるようにするためだったでしょう。そのイエス様と、顔と顔を、目と目を、心と心を合わせ

たら、まるで自分もその馬小屋に並んでいる聖像の一つとなっているような気がします。御覧ください。すべての聖像が、馬小屋の真ん中の飼葉おけと、そこにおられるイエス様に向かっての姿を！今年のクリスマスには、皆さんもそこに集う、一つの聖像となれますように。また、これからもイエス様を囲んで、そのイエス様を中心として生きる共同体となれますように。

さて、今月の教会だより『二十六聖人』には、「世界のクリスマス」を紹介するコーナーを用意しました。国によって、クリスマスは様々な形で祝われるでしょう。クリスマスは、キリスト者でなくても気づかないうちに、「『キリストの派遣』を『クリスマス』という言葉で語ってくれる」特別な日なのです。どうか、今月の『二十六聖人』を通して、信者の皆さんのクリスマスの喜びが一層大きなものとなりますように。併せて、今年のクリスマスを通して、わたしたちの共同体がいつも、イエス様の馬小屋として神様に受け入れていただけるものとなれますように、お祈りいたします。

主任司祭 ヤコブ 姜真求





2024年11月 (11月3日開催)

### 【検討事項】

1. 一粒会会費の集め方の変更  
一粒会は、司祭召命を祈り、会員の献金により神学生養成を経済的に支えています。より多くの方の協力を頂くため、今まで別封筒で集めていた一粒会会費(一粒会月定献金)と教会月定献金を一つの封筒で集めるように検討中です。
2. クリスマス献金  
今年も待降節からクリスマス献金を始めます。集まった献金は年末福祉献金に充てます。
3. 各会連絡先名簿の作成  
二俣川教会では様々な団体が活動していますが、連絡相談したくても誰と話せばよいか不明なことがあります。そのため連絡先名簿を作成することにしました。
4. 集会室使用予定表の置き場所変更  
今まで事務所内に置いていた集会室使用予定表を事務所外のレターケース上に置くようにしました。
5. 電話設備更新、インターネット環境の整備、事務所パソコン更新  
これら三つのために総額 1,200 千円を2025年度予算に組み入れました。尚、ネット環境整備については、予算的に可能なら2024年中に前倒しすることもあります。

### 6. 全館ワックス清掃

全館ワックス清掃を年間四回行っていましたが、来年度から回数を減らす方向で検討を開始します。

7. 10/27 ふれあいバザーの振り返りを行いました。

### 【各会報告】

#### 1. 典礼委員会

- ・ 11/30(土)に聖家族、アドベントクランツを設置します。
- ・ 12/1(日)10時ミサの中で水の祝別、12/5(木)19時からベネディクション(聖体賛美式)、12/15(日)10時ミサ後クリスマスコンサート、12/24(日)10時ミサ後待降節用口ウソクの片付け、1/6(月)聖家族の片付け。
- ・ 2025年 年始のミサ時間  
1/1(水)神の母聖マリア(祭)10時。1/2から1/4まで週日ミサはありません。1/4夕17時主日ミサがあります。

#### 2. 教会学校

- ・ 11月教会学校(11/3、17)でクリスマスに向けてクラフトを実施します。
- ・ 11/17 ミサで七五三のお祝いを行います。
- ・ 12月教会学校は12/1、8、15、22です。聖劇を準備します。12/8はミサ前後にゆるしの秘跡があります。

- ・12/1 クリスマス・バザー子供企画(クリスマスオーナメント作り)を行います。
- 3. キリスト教講座
  - ・入門講座は都合により休講中です。再開時には再度案内します。
  - ・「聖書の集い～福音のわかちあい～」を始めます(毎月第二日曜日 9:00～9:45)。当面は固定メンバーで行い、来春より輪を広げる予定です。
  - ・11/30 に待降節黙想会を行います。シスター小野恭世(イエズス孝女会)の講話「キリスト者のための対話法」があります。
- 4. 財務委員会
  - ふれあいバザーの会計報告
- 5. 広報委員会
  - クリスマス号として、外国にルーツを持つ信徒や外国でクリスマスを過ごした事のある信徒の皆さんがクリスマスを紹介する記事を予定しています。
- 6. 福祉委員会
  - 12/1 クリスマス・バザーでギャンブル依存症支援施設「ワンデーポート」が野菜の販売をします。
- 7. 建物管理委員会
  - 電話設備更新、インターネット環境整備等の報告。
- 8. 共同墓地委員会
  - 11/4 に上大岡共同墓地で追悼ミサ(姜神父様の主司式)を行います。
- 9. ヨゼフ会
  - ・10/27 ふれあいバザーで焼き鳥、ドリンクを出しました。
  - ・11/10、24 コーヒー光予定、12/1 クリスマス・バザーでコーヒー提供。
  - ・12/29 ミサ後、二階集会室で忘年会を予定しています。

## 10. マリア会

- ・活動報告 マリア会運営委員会 10/3 会議、10/26 バザー準備、10/27 バザー参加。パーティー係 10/26 バザー準備、10/27 バザー参加。アンナ会 10/7 活動。ステラマリス帽子を編む会 10/18、10/24 活動。ボリビア支援グループ 10/18 会議、10/20「のんびり日曜日」。
- ・活動予定 アンナ会 11/11、11/25 活動。ステラマリス帽子を編む会 11/15 船員へのプレゼントのラッピング作業、11/28 活動。ボリビア支援グループ 11/24「のんびり日曜日」。

## 11. 青年会

- 10/27 ふれあいバザーで子供企画のソンピョン(韓国のお餅)作りとバザーポスターをもとにした大きな塗り絵作りを行いました。子供たちはお手伝い、ボランティアの協力を受けて楽しみながら自由な絵を完成させました。

## 12. インターファミリー

- ・10/27 ふれあいバザーで三か国の食べ物(チャプチェ、チェ、トロン)を出しました。準備や当日の作業を通じて交流を深めることができました。
- ・11/10 アルペなんみんセンターに居住されている方々に向けてグリーティングカードを作成する予定です。

## 13. 一粒会

- 11/23 ザビエル祭の当教会参加申込は 35 名です。保土ヶ谷教会 9 名と合わせて 44 名がバス 2 台で参加する予定です。

以上





## 皆で祈りましょう

2024年12月1日 待降節第一主日。

新しい年の始まりです。

救い主が現れるのを待ち望みながら、静かに祈りましょう。

### 待降節の祈り

神よ、今年もまた、めぐり来る主の降誕の日を間近に控え、  
 御力をもって、わたしたちの心を動かし、  
 御子のために道を整えるように、励ましてください。  
 罪のために闇に閉ざされたわたしたちの心は、  
 光を求めて救い主の来臨を待ち望みます。  
 わたしたちの罪のために、救いの日が遅れることなく、  
 かえって、御いつくしみによって、  
 あなたの民としての使命を果たしたいと望んでいます。  
 わたしたちの希望を強め、終わりまでこの信仰を全うさせてください。  
 主キリストによって。アーメン。

(「カトリック祈祷書 祈りの友(改訂新版)」より)

\*\*\*\*\*

### 縦読みポエム ②

皆さまからご寄稿いただいた縦読みポエム、シリーズ第2弾です。ポエムの最初の言葉を縦に読んでみてください。

神よ  
 御子と共に  
 栄えあれと  
 毎日祈る

まりあさまが  
 りんごをたべながら  
 あるいていたら  
 さまりあじんにあって  
 まんとをあげた

聖なる賜物  
 いただく日々を  
 大切に生きる  
 命を感謝のうちに

# 世界のクリスマス



世界の国々では、どんな風にクリスマスを準備し、お祝いしているのでしょうか？二俣川教会の信者さんで外国にルーツのある方々、外国でクリスマスを過ごしたことがある方々にお話を聞きました。各国言語の「クリスマスおめでとう！」を教えてくださいましたので、今年はより一層皆さんとの繋がりを感じながら、待降節を過ごし、クリスマスを祝いましょう！



## ベトナム

ベトナムでは、クリスマスは盛大な祝日と見なされています。ベトナムは日本と似ていて、クリスマスの雰囲気を楽しむために家族や親戚が集まってディナーを食べたり、外に遊びに行ったり、カップルと過ごす傾向にあります。そして、大聖堂はクリスマスの雰囲気を祝うために最も多くの人が集まる場所です。12月24日の夜、ホーチミンのすべての教会と教区はクリスマスの夜のお祝いで賑わいます。教会では、若者や子供たちがキリスト降誕の場面を再現して、活気あふれるユニークなパフォーマンスでお祝いが始まります。

チュッ、 モイヌオイ ジャンシン  
Chúc mọi người Giáng Sinh  
アンラン - アムアツ - ハンフッ  
an lành - ấm áp - hạnh phúc



## 韓国

韓国の教会のクリスマスは一年の中で最も華やかな行事として教会の中と外を盛大に飾り、聖歌隊キャロル、バザー、演劇、野外音楽会、屋台などに多くの信者が参加し、キリストの誕生を祝います。また、12月25日は「聖誕節」といい、国家祝日に指定され、子供たちはサンタクロースのプレゼントを待ち、家族または恋人と食事を楽しみながら信仰とは関係なく国民の行事として認識されています。通りにはクリスマスの喜びを貧しい隣人と一緒に分かち合うための救世軍団体(The Salvation Army)の愛の鐘の音が響き渡ります。

アギイエスニムウィ ソンタヌウル チュカハムニダ  
아기 예수님의 성탄을 축하합니다  
ズルゴッコ タトツハン ソンタン デセヨ  
즐겁고 따뜻한 성탄 되세요



## 中国

中国では最近若者の間でクリスマスイブにリングを贈ることが流行っています。それはクリスマスイブ(平安夜ピンアンイエ)の「平(ピン)」とリング(苹果(ピンクオ))の「苹(ピン)」の発音が同じで、平安を祈る意味がこめられているからです。それゆえ、クリスマスイブに贈るリングは「平安果ピンアンクオ」と呼ばれています。

シヨントン チェク アイルー  
圣诞节快乐!



## ブラジル

ブラジルのクリスマスは家族と過ごすのが普通です。イブ(24日)の夜にはプレゼントを交換し、みんなで大きなディナーを食べる。ローストチキン、クリスマスハム(「テンダー」と呼ばれ

フェリス ナタル  
FELIZ NATAL!

る)、ポテトサラダ、そしてたくさんのデザートを食べるのが一般的です！25日は朝か夜にクリスマスミサに参加します。この日も家族と過ごします。



## フィリピン

フィリピンのクリスマスはユニークで活気に満ちたお祝いで、世界で最も長く、お祭りのなものの一つとして有名です。祭のシーズンは Ber Months に入る、9月に始まります。英語での月の表記に「ber」の付く4ヶ月(9月、10月、11月、12月)は Ber Months であり、祭は1月6日まで続き、3人の王の祭りで頂点に達します。フィリピンでは9月から街や施設、家でイルミネーションを見ることができ、クリスマスの歌やキャロルが鳴り始めます。

マリガヤン <sup>パスコ</sup>  
*Maligayang Pasko*

フィリピンの人口の90%がキリスト教徒であり、その78%がカトリック教徒です。タガログ語では「シンバン・ガビ」、スペイン語では「ミサ・デ・ガロ」として知られる9つの朝を完成させることはカトリック教徒にとって伝統です。9つの朝には9つの夜明けのミサがあり、通常は12月16日に始まり、クリスマスイブに終わります。これらのミサは通常、早朝4時から5時に行われます。この伝統はフィリピン文化に深く根ざしており、イエス・キリストの誕生を準備する一つの方法と考えられています。フィリピンのカトリック教徒の多くは、9つのミサを終えることによって彼らの祈りとクリスマスの願いを実現すると信じています。12月16日からクリスマスイブまで、午前4時に人々で混雑する教会の様子は、フィリピンでは普通の光景で、教会の外にはミサの後に伝統的なクリスマス料理を買って食べることができる屋台が並んでいます。

クリスマスになると、ゴッドペアレント(代父母)は、自分のゴッドチャイルド(代子)にお金や物質的なプレゼントを贈るのが伝統です。この実践は愛情とケアを象徴し、ゴッドペアレントとゴッドチャイルドの絆を強める役割を果たしています。

12月24日のクリスマスイブには、有名な伝統ノチェ・ブエナ(Noche Buena)が祝われます。ミサ・デ・ガロ(Misa de Gallo)として知られる真夜中のミサに続く盛大な宴会です。深夜に親戚が集まって食事を楽しむ家族中心のイベントです。ノチェ・ブエナの料理は文化や地域によって大きく異なりますが、この特別なお祝いのために用意された独特さと贅沢さが特徴です。有名なのは豚の丸焼き(Whole grill piglet)です。

フィリピンのクリスマスは、宗教的な献身、家族、そしてお祭り騒ぎの楽しい融合であり、フィリピンの文化的信念、価値観、習慣、伝統に深く根ざしています。あなたが平和で穏やかなクリスマスを目指しているのなら、フィリピン式のクリスマスはあなたのためではありません。しかし、あなたが他の誰にもないようなお祭り気分を熱望しているのなら、フィリピンのクリスマスは贈り物と分かち合いのこの季節を祝うのにちょうど良い場所です。



## コロンビア

コロンビアで4回クリスマスを経験

フェリス

ナビダ

*¡Feliz Navidad!*

しました。単身赴任でしたので、クリスマスは親しくしている家族と過ごしました。クリスマスの9日前から毎日1回、ノベナと言って家族が集まり聖書を順番に読みお祈りをします。ク

リスマスイブからクリスマスには、各家庭では親族が集まりパーティーが行われ、食べたり、しゃべったり、ダンス(サルサ)をして過ごします。コロンビア特有のクリスマスの食べ物としてブニュエロ(小麦粉とチーズの揚げ団子)、ナティージャ(カスタード味のういろ)がありますが、私は大好きです。



## マレーシア

クリスマスイブの午後 10 時に  
夜半ミサに行きます。Christmas

セラマツト

ハリ

ナタル

*Selamat Hari Natal*

pageant (クリスマスページェント=聖劇)とクリスマスソングで夜半ミサを祝います。ミサの後、私たちは家に帰り、晩御飯を食べてお酒を飲んだり、クリスマスプレゼントを開けたりします。翌日、私たちは家族と共にクリスマスランチを食べます。その日の午後には、クリスマスの喜びを一緒に祝うために、信者以外の親しい友人のためのオープンハウスもあります。



## ポーランド

空に一番星が出たら、クリスマスイブのディナーが始まります。この伝統は、新約聖書によれば、ベツレヘムの星が東方の三博士をキリスト生誕の地へ導いたことを記念しています。クリスマスイブの食事の前にお父さんは

ヴェソウィフ

シュビョント

*Wesołych Świąt*

ナロジェニア

ボジエゴ

*Bożego Narodzenia*

聖書を読んで、家族は一緒に祈った後で、ポーランドの古い伝統であるオプワテックの分かち合いが行われます。その後で 12 種類の料理を食べます。オプワテック(oplatek)とは、薄いウエハースのようなもので、表面に宗教的な絵柄が浮き彫りになっています。イブディナーに参加している人は全員がオプワテックを一枚受け取り、お互いにその一部を分け合います。分け合うさいには、相手の健康や幸せを祈る言葉を交わします。それから食卓に着きます。この伝統は、「最後の晚餐」でパンを裂いたことと関連しています。

12 月 24 日のクリスマスイブにケーキを含めて 12 種類の料理を食べます。しかし、全ては肉なしです！野菜、チーズ、魚だけです。クリスマスイブに肉を食べない理由は、この日の本質であるキリストの受肉に感謝する為の小さな断食となっています。肉料理を食べるのは 25 日のクリスマスからになります。

12 種類の料理は、イエスが最後の晚餐に共に座った 12 人の使徒を象徴しています。また、かつては家庭が神様に感謝を捧げる 1 年の 12 カ月を象徴していました。

生まれたばかりのイエスが飼い葉桶の中に寝かされていたことを思い出すために、テーブルクロスの下に干し草を少し置きます。

最近ではクリスマスツリーを飾るのは早くなりましたが、ポーランドの伝統によるとツリーを飾るのは 24 日の午前中か 23 日です。アドベントの時期にツリーを飾るのはまだ早いです。

そして、ツリーを飾る期間は長く 2 月 2 日「主の奉獻」までです。



## ふれあいバザーのご報告

10月27日(日)、良いサマリア人のたとえ話『行って、あなたも同じようにしなさい』ルカ 37.10 というみことばをテーマに、ふれあいバザーを開催しました！



マリア会のお腹も心も大満足のキーマカレー、ヨゼフ会伝統のやきとり、インターファミリーの3種類もの多国籍料理が用意され、楽しく美味しい時間を過ごしました。今回はフードを中心としたバザーとなりましたが、一味違う企画も加えて、聖堂での聖具と祭服の展示、聖地の「十字架の道行」紹介、良いサマリア人の絵本展示や外部出店でお菓子などの販売やアイメイトカレンダーの販売もありました。

子どもたちは、塗り絵企画で自由に色を塗ったものが、集められて大きな一つのポスターになったこと。小さな子たちまでも自分で作った韓国のおもち(ソンピョン)を食べたこと。会場で名前も知らない担当の方に話しかけてサマリア人クイズに挑戦し、もらったデナリオンで美味しいご褒美をもらったこと。ただの壁だった聖堂の壁を見上げてみたら、イエス様の道があったこと。触ったことも近くで見たこともない聖具を見て、前より祭壇の上がちょっと気になるようになったかもしれないこと。それぞれに小さな体験が散りばめられたバザーとなったかなと思います。最後は聖堂での“結びの集い”をもって、バザーを締めくくることができました。それもこれも試行錯誤しながら行う中で、たくさんの方々のご協力で実施することができました。心から感謝致します。このバザーが、神様の御旨に合うものであったかと振り返りながら、これからも取り組んで参りたいと思います。神に感謝！

バザー準備会

### ●ふれあいバザー各会からの献金額

ヨゼフ会 22,041 円

マリア会 34,079 円

インターファミリー 29,800 円

青年会 6,300 円

年末福祉献金 献金箱 19,248 円





## ザビエル祭だより ～その①～

11月23日(土)、日本カトリック神学院のザビエル祭が行われ、二俣川教会からは30名以上が参加しました。コロナ禍以前の形に完全に戻ったザビエル祭は1000人以上の来場者で大賑わいとなりました。本紙1月号では「参加者の声」をお届けします。



ナン助祭が、とびきりの笑顔で迎えて下さいました！



イエスのカリタス修道女会のスモールクワイヤコンサート、長崎大司教区の中村倫明大司教様はミサの主司式と講演(右の写真は講演時の様子)をして下さいました。



↑右からグエップ助祭、枇杷助祭、ナン助祭。横浜教区の助祭3名です。一粒会で計画して下さったバスツアーを利用してたくさんの方が参加できました。  
←集合写真は保土ヶ谷教会の皆さんとご一緒に。

# ホッとトピックス

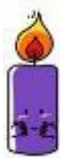
## アドベントリースのこと

アドベント (Advent) はクリスマスまでの準備期間、待降節のことです。ラテン語で「到来」「来臨」を意味する

「Adventus (アドベントゥス)」という単語が語源とされており、「キリストが生まれた (この世に現れた) クリスマスという日を待ち望む」という意味があります。この4週間の待降節をアドベントリースのロウソクを1本ずつ付けていく伝統はドイツが起源とされており、アドベントクランツ (Adventskranz) と、ドイツ語で呼ばれることも多いです。

アドベントリースは4色のロウソクが使われますが、それぞれに

待降節の典礼を象徴する意味が込められています。待降節は二重の特質を持っていて、神の子の第一の来臨を追憶して降誕を祝うための準備期間であり、また同時に、その追憶を通して、終末におけるキリストの第二の来臨の待望へと心を向ける期間でもあります。忙しい日常の中でもひととき、日々のみことばを味わいながら、ロウソクの前で祈り、待降節を過ごすのはいかがでしょうか。



**濃い紫【悔い改めと償い】**

**第1主日**

聖書箇所において、特に預言者と共に歩む時期です。真の悔い改めを通して、新たな道を歩み始める準備をしましょう。



**淡い紫【希望】**

**第2主日**

終末に対する心の準備やキリストが来られるのを待ち望みながら、心の悔い改めと回心が勧められる時期です。



**ピンク(バラ色)【喜び】**

**第3主日**

直接キリストの誕生を迎える期待が主題となっている。主の降誕がもっとも近づいたことを喜びの心を持って準備します。



**白【イエス・キリスト】**

**第4主日**

この世の闇を照らす救いの光として来られるイエス・キリストを象徴し、嬉しい降誕が私達の信仰の生活の中でキリストの光になるように願う心で火を灯します。



## 【12月・1月の予定】

- ・12月1日 教会学校 (1F司祭執務室にて。幼児クラスはお休みとなります。)  
教会バザー (クリスマスのかざりを作ります！みんな参加してください！！)
- ・12月8日 教会学校 ゆるしの秘跡
- ・12月15日 教会学校
- ・12月22日 教会学校 聖劇(10時ミサ)
- 2025年
- ・1月19日 教会学校始業 (初聖体クラス初顔合わせ)



## 【お知らせ】

- ・12月の教会学校は、聖劇の練習などもありますので、1日から22日まで毎週行います。
  - ・11月中に初聖体の申込書を対象となるお子さまに送付いたします。
- その他ご希望がある方は、事務所か、教会学校リーダーにお申し出ください。

## 【クリスマスランタンづくり】

夏休みのサマースクールで作ったランタンのクリスマスバージョンを作りました。  
聖劇の中で奉納してイエスさまのご誕生をお祝いいたします。



## 【七五三の祝福】

11月17日の主日のミサの中で三才3名、五才2名、七才2名の子ども達が七五三の祝福を授かりました。子ども達は教会の光です。光が明るく輝ける様に、光が絶えない様にみなさんでお祈りいたしましょう。





10月27日(日)に今年1回目のふれあいバザーが開かれました。マリア会はフード企画の一環として、キーマカレーを1皿500円で提供しました。当日は時折雨も降ったりしましたが、概ねお天気に恵まれて、大人たちも子供たちも美味しいキーマカレーを喜んでくださいました。

**お陰様で船員さんのプレゼントがなんと383個もお届けできました！(去年は180個)**

11月15日(金)ミサ後にラッピング作業を致しました。多くの方々にご参加下さり、沢山のプレゼントを、途中お茶の時間を挟んでも14時過ぎにはラッピングが終了しました。プレゼントを20個ずつ袋に入れて19袋と3個になりました。直ぐ車に積み、事務所のある末吉町教会に向かいました。エンコムの方がプレゼントを受け取ってくださいましたが、その量にびっくりされていました。

毛糸の帽子を編み続けてくださった方々、毛糸をご寄付下さった方々、タオルや石鹸、歯ブラシ、日本的な小物を寄付して下さった方々、ラッピングのためにお集まりいただいた方々、この活動を見守って下さった神父様。皆様のお陰で今年もステラマリス横浜事務所にお届けできました。私たちはこれからも編み続けていきます。さらなるご支援をよろしくお願いいたします。

マリア会 ステラマリス帽子を編む会 K. M.



\*\*\*\*\*

**「編集後記」**

ちょうどこの12月号をお配りする時から待降節が始まりますね。この度世界のクリスマスの模様を信徒の方々にお聞きしましたところ、どの国も家族で集まり喜びを分かち合う様子が共通していました。ベツレヘムの馬小屋の聖家族から溢れる救いの希望の温かさを、二俣川教会の教会家族の皆様とクリスマス特集の12月号でも分かち合えたら幸いです。(A. K. 記)



「二十六聖人」の裏表紙に“アドベントリース”のイラストを載せました。

待降節のあいだ、一週ごとにロウソクの火をご自分で描き入れ…

灯してみるのはいかがでしょうか？

素敵に心温まる待降節と降誕祭を過ごされますように。

## 待降節と降誕節の典礼とスケジュール

11月30日(土) 待降節の黙想会

13:30～ 講話：シスター小野恭世(イエズス孝女会)

15:00～ ゆるしの秘跡

12月1日(日) 待降節第1主日〔宣教地召命促進の日(献金)〕

ミサ後 クリスマスバザー

8日(日) 待降節第2主日

9日(月) 無原罪の聖マリア(祭) ミサ 10:00

15日(日) 待降節第3主日

ミサ後 聖歌隊クリスマスコンサート

22日(日) 待降節第4主日 10時ミサの中：教会学校による聖劇

ミサ後：みんなで祝おうクリスマス

24日(火) 主の降誕 夜半のミサ 19:00

25日(水) 主の降誕 日中のミサ 10:00

29日(日) 聖家族(祭)

2025年

1月1日(水) 神の母聖マリア 世界平和の日 ミサ 10:00

5日(日) 主の公現(祭)

12日(日) 主の洗礼(祝)

19日(日) 年間第2主日 青年のミサ

ミサ後 教会新年会と新成人を祝う会